

令和8年度経営計画



1. 経営方針 – 業務環境 –

兵庫県の景気動向

兵庫県の景気は、一部で回復の動きは見られるものの、物価高や深刻な人手不足の影響が依然として大きく、県内の倒産件数がコロナ禍以前と比べて増加傾向にある点からも、厳しい状況にあることがうかがえます。先行きについては、国際化の進む神戸空港の利用者増加や環境意識の高まり、AIをはじめとするDXの推進など、ビジネス拡大の機会となる明るい動きも見られる一方で、為替の変動や不安定な国際情勢の影響など、景気の下振れリスクも依然として多く、予断を許さない状況が続いています。

中小企業・小規模事業者を取り巻く環境

コロナ禍で積み上がった債務の返済負担に加え、物価高や人材確保・定着のためのコスト増加も重なり、中小企業・小規模事業者（以下、「事業者」という。）を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いています。また、金融政策の正常化が進み「金利のある世界」が定着する中、既存債務の返済負担や資金調達コストの増加が、事業者の経営に一層の圧力をかけています。

こうした環境下において、経営改善や収益力の向上、事業承継に関する支援だけでなく、DXによるデジタル化・省力化の推進など、事業者が抱える多様な経営課題に対して、早期かつ的確な支援を行うことが一層求められています。

1. 経営方針 – 業務運営方針 –

当協会は、こうした業務環境を踏まえ、「事業の維持・創造・発展に努力する中小企業の良きパートナーとして信頼される保証協会を目指し、地域経済・社会の発展に貢献する」という基本理念のもと、金融機関や関係機関との連携強化により、事業者が抱える経営課題を早期に把握し、最適な保証の提供や経営支援の実行に努めることで、経営課題の早期解決を後押しします。また、経営者保証を不要とする保証、創業・再チャレンジ支援等の推進により、地域経済の発展を後押しするとともに、SDGs達成に向けた取組を推進し、持続可能な地域社会の実現に貢献します。この方針を実践するため、各部門において以下を中心に業務を推進します。

保証部門

金融機関の支援が届きにくい事業者に対する実地調査や、金融機関、土業等と連携したモニタリングを通じ、最適な保証の提供や経営支援を行うとともに、創業・再チャレンジ支援、経営者保証に依存しない融資慣行の確立に向けた取組をより積極的に推進し、地域経済の持続的な発展を後押しします。

期中管理・経営支援部門

関係機関との連携のもと、事業者に寄り添ったきめ細かなフォローアップを推進し、早期に経営改善支援・事業再生支援・再チャレンジ支援等に取り組むことで、事業承継を含め多様化する経営課題の解決を後押しします。また、人材育成等により経営支援の質を高めるとともに、経営支援の効果を検証し、支援の実効性を高めるための工夫や改善を行います。

回収部門

関係部署や関係機関との連携を強化するとともに、管理部とサービスの回収業務における役割分担をより一層明確化し、個々の求償権の状況や求償権関係人の実情に応じた効果的かつ効率的な回収を図ります。また、求償権関係人の再生・再チャレンジを後押しするため、事業再生や生活再建に対する支援に継続して取り組みます。

その他間接部門

組織体制の見直し、デジタル技術を積極的に活用した業務の効率化、働きやすい職場環境の整備、危機管理体制の維持・強化等により、経営基盤の安定を図ります。また、SDGs達成に向けた取組を推進し、持続可能な地域社会の実現に貢献します。

2. 重点課題

保証部門

- ・事業者への継続的な支援
- ・経営者保証に依存しない保証の推進
- ・金融機関・関係機関との連携強化、適切なリスク分担

期中管理・経営支援部門

- ・関係機関との連携によるプッシュ型及びフォローアップ型経営支援の強化
- ・経営支援の質向上
- ・経営支援の効果検証

回収部門

- ・管理部とサービスの役割分担の徹底
- ・適正な回収業務の推進
- ・事業再生、生活再建への取組
- ・サービスの活用推進

その他間接部門

- ・組織体制、業務プロセス等の将来に向けた見直し
- ・デジタル技術のさらなる活用による業務体制の整備
- ・SDGsの推進
- ・将来を見据えた人材の採用・育成、職場環境の整備
- ・危機管理体制・経営基盤の強化
- ・多角的な広報活動による認知度向上と業務内容・活動の周知
- ・コンプライアンス態勢の強化・徹底

3. 主要業務数値の計画

令和8年度の保証承諾等の主要業務数値（見通し）は以下のとおりです。

項目	金額	前年度計画比
保証承諾	3,500億円	92.1%
保証債務残高	1兆5,080億円	97.7%
代位弁済	290億円	96.7%
回収	59億円	103.5%